

【第5章:平安時代と摂関政治】

①平安京遷都

平城京にて、貴族や層の勢力争いや仏教関係の支出による財政難などにより政治が混乱

784年:長岡京遷都→桓武天皇により、政治を立て直すため(政教分離)

794年:平安京遷都

②桓武天皇の政治

律令国家の立て直しを目指す

→役職・役所の追加や整理、国司の取り締まり、農民の負担軽減など

③東北地方の支配

東北地方の蝦夷が朝廷の支配に抵抗

→朝廷は坂上田村麻呂を征夷大將軍に任命し軍を派遣し、蝦夷の首長アルテイを降伏させる

→朝廷の支配は広がったが、その後も蝦夷の抵抗は続く

【平安仏教】

宗派	天台宗	真言宗
開祖	最澄	空海
寺院	比叡山延暦寺	高野山金剛峰寺

【摂関政治】

9世紀ごろから藤原氏が力をつける

→10世紀後半から摂関政治が全盛を迎える。

摂関政治:摂政と関白を中心とする政治

天皇が幼い時は摂政がかわりに政治を行う。
天皇が成長したら関白が天皇の補佐をする

＜藤原氏の摂関政治＞

自分の娘を天皇のきさきにし、その子を天皇にし、政治の実権をにぎった。

→11世紀前半の藤原道長・頼通の時代に摂関政治の全盛を迎える。

【国風文化】

美術	建築	平等院鳳凰堂
	彫刻	平等院鳳凰堂阿弥陀如来像
文学	和歌集	<u>古今和歌集</u> (by 紀貫之ら)
	日記	<u>土佐日記</u> (紀貫之)
	随筆	<u>枕草子</u> (by 清少納言)
	物語	竹取物語 伊勢物語 <u>源氏物語</u> (by 紫式部)

【背景と特徴】

①背景

中国にて唐が衰え、10世紀始めに滅びる→宋が10世紀後半に中国を統一

朝鮮半島にて新羅が衰え、10世紀前半に高麗が朝鮮半島を統一する

1) 894年:遣唐使の停止 (by 菅原道真)

理由: 唐の衰退により航海の危険を侵してまで遣唐使を送る必要がなくなったため。

2) 浄土信仰の流行→南無阿弥陀仏と念仏を唱え、死後に極楽浄土に生まれ変わるという信仰が広まる。

②特徴

藤原氏の摂関政治期を中心に栄える→日本の風土や日本人の感情に合わせた独自の文化

【貴族の生活・建築】

①貴族の生活→寝殿造と呼ばれる

②建築

平等院鳳凰堂:浄土信仰の影響を受け、藤原頼通が宇治に建てた阿弥陀堂

【文学】

かな文字(仮名文字):漢字を基にして平仮名と片仮名が生まれる

古今和歌集:醍醐天皇の命令で紀貫之らが編纂した初の勅撰和歌集

土佐日記:紀貫之が書いた日記

枕草子:清少納言が書いた随筆

源氏物語:紫式部が書いた物語